

---

# 第12回モニタリング会議 ご説明資料 (2017年4月～9月業績報告)

2017年12月11日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.7
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.9
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.10

## 計画と実績の対比（全社PL）

全社の事業再生計画 第3期(2017年4月～9月)実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル(旅行業)」との合算

	2017/4～2018/3月	2017/4～6月	2017/7～9月	2017/4～9月	進捗率 ④÷①	2016/4～9月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績②	第2四半期 実績③	6ヶ月 実績④(②+③)		前年同期 実績	
売上高	5,544	1,457	1,443	2,900	52%	2,922	99%
売上原価	577	191	154	345	60%	347	99%
差引収益	4,967	1,266	1,289	2,555	51%	2,575	99%
人件費	2,545	624	754	1,378	54%	1,328	104%
厚生費	302	86	112	198	66%	188	105%
動力費	529	91	103	194	37%	177	110%
修繕費	303	61	76	137	45%	149	92%
物件費	108	23	24	46	43%	51	91%
経費	1,010	256	251	507	50%	491	103%
諸税	105	19	25	43	41%	43	101%
減価償却費	473	120	113	233	49%	211	110%
営業費計	5,375	1,280	1,457	2,737	51%	2,638	104%
営業利益	-408	-14	-168	-182	-	-63	-
営業外収益	56	37	25	62	110%	55	112%
営業外費用	70	21	14	35	51%	60	59%
経常利益	-422	2	-158	-156	-	-68	-
特別利益	513	50	101	151	29%	15	-
特別損失	23	9	104	113	-	84	134%
税引前当期利益	68	44	-161	-117	-	-137	-
法人税等	17	0	12	12	-	10	117%
当期純利益	52	44	-173	-129	-	-147	-

単位：百万円

## 計画と実績の対比（全社PL）

### <事業再生計画比> ※第2四半期につき進捗率50%と比較

売上高、差引収益はほぼ計画どおりの進捗。経費は、人件費・厚生費が計画進捗比で上回ったが、軽油単価が計画比低位推移し、路線・高速・貸切バス等の動力費が低減。営業利益・経常利益ともに計画を上回る進捗。

### <2017年4月～9月第2四半期の概況>

【売上高】 2,900百万円となり計画に対する進捗率52%

【売上原価】 旅行事業部門における原価率の高い商品の受注増により計画に対する進捗率60%

【差引収益】 2,555百万円となり計画に対する進捗率51%

【営業費】 人件費・厚生費が計画比で増加しているが、軽油単価の低位推移などにより、計画に対する進捗率51%

【営業利益】 計画を上回る進捗ではあるが△182百万円

【営業外収益】 業務委託料・有価証券配当増などにより、年度の計画をクリア

【営業外費用】 35百万円となり計画に対する進捗率51%

【経常利益】 計画を上回る進捗ではあるが△156百万円

【特別利益】 工事負担金受入益、有価証券売却益を計上。計画上補助金は年度末に計上

【特別損失】 固定資産圧縮損(工事負担金・補助金による圧縮)95百万円、事業再生関連費用(専門家費用)16百万円

【当期純利益】 第2四半期経過時点で△129百万円の赤字計上(補助金収入は下期に計上)

### <対前年同期実績比>

- ◆ 売上高・差引収益は前年同期実績並み
- ◆ 営業費用は人件費・動力費・減価償却費等を中心に増加
- ◆ 営業損益、経常損益ともに前年同期実績比で赤字拡大。当期純損益は赤字幅縮小

### <経費科目説明>

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等　修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等　物件費・・・水道光熱費・備用品等  
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等　諸税・・・固定資産税・自動車税等　減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却  
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等　営業外費用・・・支払利息等　特別利益・・・補助金等　特別損失・・・事業再生関連費用等

## 計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2017年4月～9月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位:百万円

	2017/4～2018/3月 12ヶ月	2017/4～6月 第1四半期	2017/7～9月 第2四半期	2017/4～9月 6ヶ月	進捗率 ④÷①	2016/4～9月 前年同期 実績	前年 同期比
	計画①	実績②	実績③	実績④(②+③)			
売上高	1,085	266	266	532	49%	566	94%
売上原価					-		-
差引収益	1,085	266	266	532	49%	566	94%
人件費	737	194	231	424	58%	420	101%
厚生費	84	26	33	60	71%	59	101%
動力費	189	33	38	71	38%	66	108%
修繕費	120	27	35	62	52%	63	99%
物件費	29	6	7	13	45%	13	100%
経費	164	44	40	84	51%	92	91%
諸税	25	6	2	8	32%	8	100%
減価償却費	99	25	23	48	49%	43	112%
営業費計	1,446	361	409	770	53%	765	101%
専属営業損益	-362	-96	-143	-239	-	-199	-
減価償却前専属営業損益	-263	-71	-120	-191	-	-156	-

< 専属営業損益とは >

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## &lt; 計画差異要因等 &gt;

- ✓ 売上高
  - スクール線の便数減少による減もあり、計画をやや下回る進捗
- ✓ 費用
  - 人件費: 人事制度改正による増、時間外手当増
  - 厚生費: 人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
  - 動力費: 軽油単価の計画比低位推移
  - 経費: ですかシステム更新賃借料の増
- ✓ 専属営業損益
  - 動力費の低減はあるが、人件費の増などにより計画を下回る進捗

## &lt; 前年同期差異要因等 &gt;

- ✓ 売上高
  - 4月からのスクール線便数減少等による減
- ✓ 費用
  - 人件費: 人事制度改正による増、時間外手当増
  - 動力費: 軽油単価の上昇による増
  - 減価償却費: 車両更新等による増

-----

< 科目計上ルール変更とは >

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

## 計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2017年4月～9月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位：百万円

	2017/4～2018/3月	2017/4～6月	2017/7～9月	2017/4～9月	進捗率 ④÷①	2016/4～9月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績②	第2四半期 実績③	6ヶ月 実績④(②+③)		前年同期 実績	
売上高	1,000	261	268	529	53%	538	98%
売上原価					-		-
差引収益	1,000	261	268	529	53%	538	98%
人件費	560	143	171	314	56%	300	105%
厚生費	70	20	26	46	66%	43	108%
動力費	77	18	23	42	54%	39	106%
修繕費	46	8	14	22	47%	23	94%
物件費	22	6	6	12	53%	11	109%
経費	60	16	17	33	56%	35	95%
諸税	15	2	2	3	21%	3	100%
減価償却費	45	8	8	17	37%	23	72%
営業費計	897	222	267	489	55%	478	102%
専属営業損益	103	39	1	41	39%	61	67%
減価償却前専属営業損益	148	48	9	57	39%	84	68%

&lt; 専属営業損益とは &gt;

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## &lt; 計画差異要因等 &gt;

- ✓ 売上高
  - 計画を上回る進捗
- ✓ 費用
  - 人件費：人事制度改革による増、時間外手当増
  - 厚生費：人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
  - 動力費：使用電力の単価増
  - 経費：ですかシステム更新賃借料、知寄町P&R賃借料等に伴う増
  - 減価償却費：車両等資産の償却減
- ✓ 専属営業損益
  - 専属営業損益は41百万円（進捗率39%）の黒字

## &lt; 前年同期差異要因等 &gt;

- ✓ 売上高
  - 運送収入・広告収入減
- ✓ 費用
  - 人件費：人事制度改革等による増、時間外手当増
  - 動力費：使用電力の単価増

## &lt; 科目計上ルール変更とは &gt;

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

路線バスの2017年4月～9月利用状況：運送収入は前年比94%、IC利用客数は前年比89%で推移

- 本表は運送収入のみ  
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

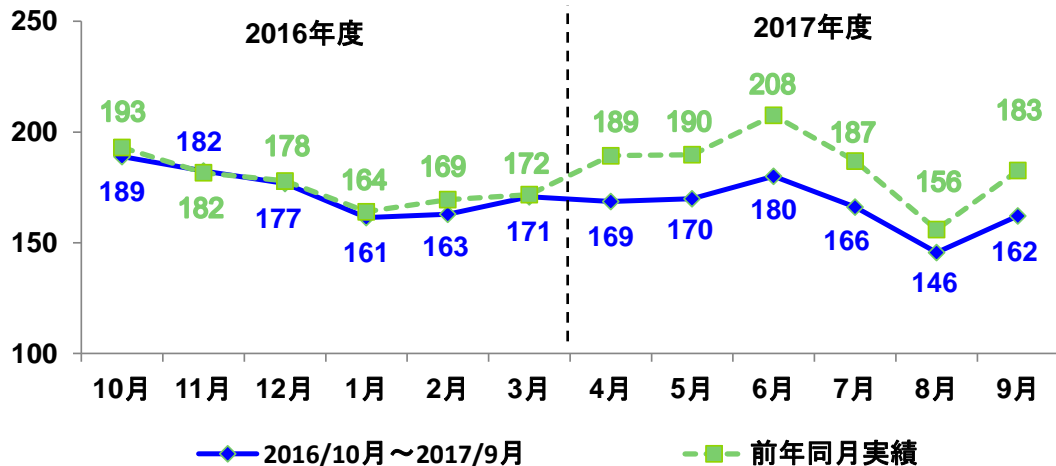
単位：百万円

	2016/7～9月	2017/7～9月	2016/4～9月	2017/4～9月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	6ヶ月 前年同期①	6ヶ月 実績②	
運送収入	275	259	553	519	94%
①定期全体	58	51	121	104	86%
②定期外収入	217	209	432	415	96%
うち、現金収入	118	117	232	226	97%
うち、SF	98	92	199	189	95%

<路線バス収入の増減要因>

- ✓ 「ダイヤ改正による減キロ」  
 2014年10月1日 △2.5%  
 2015年10月1日 △0.6%  
 2016年10月1日 △3.0%  
 2017年 4月1日 △1.5%
- ✓ 運送収入94%の要因は、2017年4月のスクール線の便数減少および通勤定期の減少、ダイヤ改正にともなう減キロ等
- ✓ 雨天日が前年より5日多かったが、台風の影響により、7月は学校休校  
 8月は部分運休の影響があった

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 対前年同月比において、今年度6ヵ月連続前年割れ
- ✓ 減少要因は、2017年4月からのスクール線の便数減が主要因
- ✓ 6ヵ月累計のICカード利用客数は993千人、前年同期は1,112千人にて、約11%の減
- ✓ 雨天日が前年より5日多かったが、台風の影響により、7月は学校休校  
 8月は部分運休の影響があった

<スクール線の影響/4月～9月 前年比較>

【定期券・SF】 ※現金を除く 単位：収入(百万円)、IC利用客数(千人)

	H28	H29	差
収入	22	5	▲17
IC利用客数	107	15	▲92

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約70%

## 軌道の2017年4月～9月利用状況：運送収入、IC利用客数ともに前年比99%で推移

- 本表は運送収入のみ  
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

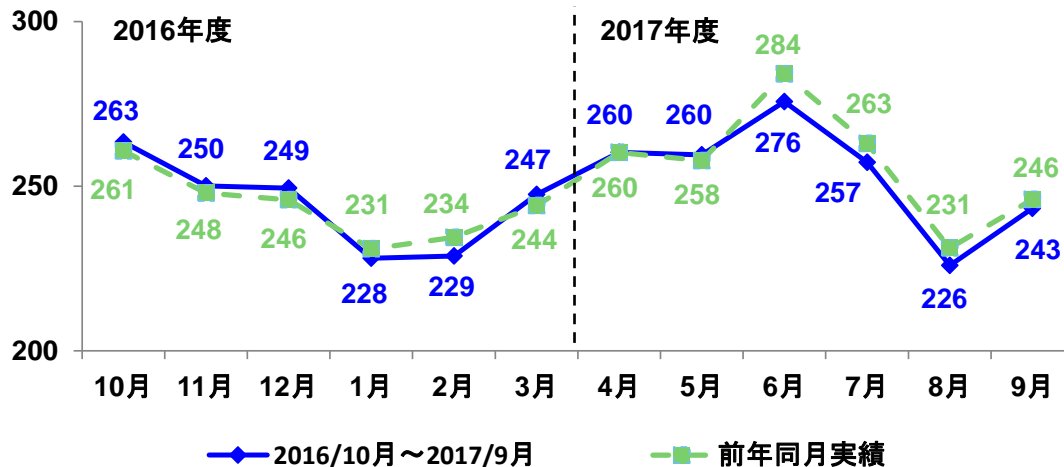
単位：百万円

	2016/7～9月	2017/7～9月	2016/4～9月	2017/4～9月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	
	前年同期	実績	前年同期①	実績②	
運送収入	246	241	483	476	99%
①定期全体	65	64	132	131	100%
②定期外収入	180	176	352	345	98%
うち、現金収入	122	121	232	231	99%
うち、SF	58	56	120	114	96%

## ＜軌道収入の増減要因＞

- ✓ 運送収入はほぼ前年同期並み
- ✓ 「雨天日」は第1四半期累計：▲9日、第2四半期累計：+14日  
(上期累計：+5日)
- ✓ 雨天日が前年より5日多かったが、台風の影響により、7月に学校休校、8月・9月に部分運休あり、収入を押し下げた。一方で、志国高知幕末維新博による観光客の入り込み、各種利用促進施策の取り組み等の効果もあり、ほぼ前年同期並みで着地

## ＜利用客数推移＞ 単位：千人



## ＜利用客について＞

- ✓ 対前年同月比、4月は横ばい、5月は増加、以降4ヶ月は減少
- ✓ 6ヵ月累計のICカード利用客数は1,522千人、前年同期1,542千人に対し、約1%の減
- ✓ 減少要因は、台風による7月の学校休校(1日)、8月・9月の部分運休(各1日)の影響

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約50%



## 2017年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

内容	路線バス	軌道
<b>■2017年4月1日～9月末まで</b>		
1. 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 4月	○	-
2. ローラー活動(横浜ニュータウン/鳥越・塚の原・口細山 他) 3回	○	○
3. 婚活電車の運行 4月、5月、6月	-	○
4. 電車の日イベント開催 5月	-	○
5. 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
6. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよろ〉 6月	○	○
7. 防災訓練 6月	○	○
8. 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
9. 子育て応援団～すこやか2017～ ブース出展 7月	○	○
10. バスキッズイベント 7月・8月	○	-
11. 電停への「まんが観光案内板」設置 8月	-	○
12. とさっ子タウン2017 イベント出展 8月	○	○
13. 「市商・とさでんプロジェクト」の取り組み 8月、9月	-	○
14. ですかキャンペーン実施 9月～	○	○
15. 小学生を対象とした出前授業(十津小学校、介良小学校) 9月	○	○
16. 伊野商業前電停改良による供用開始 9月	-	○
17. 交通安全ひろば ブース出展 9月	○	○
18. RKCランド ブース出展 9月	○	○
<b>■2017年10月1日以降</b>		
1. 鉄道の日イベント開催 10月	-	○
2. ローラー活動(鏡川橋～旭町三丁目/旭駅前通～上町五丁目) 10月、11月	○	○
3. 小学生を対象とした出前授業(介良潮見台小学校) 12月	○	○
4. HI-SIX リレーマラソン ブース出展 12月	○	○

2017年4月～9月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

【2017年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	178	補助車両(5両)の購入	103	41	安全安心、利便性向上	補助車両(ノンステップバス2両)購入済み
		その他	75	4	安全安心、利便性向上	バス車載器、中古車両1両購入
軌道	322	低床車両の購入	250	0	安全安心、利便性向上	年度中に1両購入予定
		車両冷房装置(2基)	17	0	利便性向上	年度中に2基設置予定
		き電線改良	11	0	安全安心	一条橋～小籠間
		ドライブレコーダー	9	8	安全安心	20両分を設置
		その他	35	11	安全安心他	鏡川橋梁耐震設計(調査を含む)、車両工場の電車屋根上点検施設改良および増設他
合計	500		64			

- 軌道の車両購入(1両:250百万円)は、再生計画上2016年度の投資予定であったが、車両メーカーの製造計画の関係で2017年度へ持ち越し
- 一宮BT建替は、棧橋集約費用の一部として2016年度に50百万円を予定していたが、土地売却計画遅延により2017年度へ持ち越し
- 路線バス低床化率 45.5%(平成29年9月末時点)【路線バス車両数134両(空港連絡除く)、うち低床車両61両】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	45			381	54.2%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	19			311	37.9%